

JHF 教員検定員研修会

2011年3月8日～10日（3日間）

2011年4月17日 椋本清治

前回の2008年に続き、今年も朝霧高原でJHF教員研修会に参加しました。この研修会は3年に1回開催され、最近の技術を再確認するためのものです。四国からは愛媛の山野さんと徳島からは椋本が参加しました。8日の朝、静岡の高速ICを降り朝霧高原へ向かうと、車の屋根に雪を積んだ車が下りてきます。なんだか大げさな気がしていましたが、さんじゅうアサギリ高原パラグライダースクールの駐車場も練習バーンも雪でいっぱいでした。

■ 1日目 ■

<新パラグライダーテキスト>

内容は3年前とは異なり新パラグライダーテキストに基づいて改定され、パイロットなどの試験問題が一新されています。まだ、新しいパラグライダーテキストを持っていない方は入手し読んでおく必要があると思います。また、判定基準については、全国のレベルを合わせるために、細かな部分も真剣に議論が交わされました。

<SIVトレーニング>

SIVトレーニング内容を勉強した後、午後から実技の予定でしたが雪のため翌日に回されました。最近は無ヌーバーと呼ばずにSIVトレーニングと呼ぶことが多くなっているとの事です。

<レスキューパラシュート>

リパック方法を実習しました。ロガロタイプや四角いタイプのリパックは初めての経験でした。個人的には四角いタイプのレスキューパラシュートに興味をもちました。まず、縫い目が少なく軽く作れる。糸方向に生地が取れるので強く無駄が少ないようです。



ロガロタイプ



四角いタイプ

<高齢者とスカイスポーツ>

年とともに身体は動かなくなる。日ごろのストレッチなどで気づかせることが必要かもしれません。（気づかせることが重要）

<車中泊>

雪の中、山野さんと椋本は3日間とも車中泊です。寒くてタオルや飲料水が凍っていました。

■ 2日目 ■

<事故の分析>

<航空力学>

どうして揚力が発生するかをどのように説明するか？前縁が丸いことや後縁に吹き下げが起こることなどの説明がありました。

<フライト実技>

雪でいっぱいのでイクオフへ上りましたが 2 名飛んだところで強風になりまた中止になりました。

<山沈講習>

前回はハーネスを脱いで降りる方法でしたが、簡易ハーネスを使ったりと余分な装備が必要でした。今回はハーネスを使って降りる方法で特別な道具を必要としないので今年の方が個人的には良い方法だと思います。

<気象>

外村さんの弟子、ウエザーニュースの女性が説明してくれました



朝霧イクオフ



山沈回収の実習

■ 3日目 ■

<LTFとEN>

<CIVL>

両方が歩みより、ほとんど差が無くなってきている。DHV (LTF) も 1-2-3 から ABCDE に変わりました。FAI カテゴリーの大会ではハーネスやヘルメットなど EN 規格を使用が義務づけされる。

<フライト実技>

最終日にやっとフライト実技が行われました。内容はイクオフ、ピッチング、ローリング、片翼つぶし (Aライザー)、ランディング (半径 5 m)、続けてグラハンスラロームです。もちろん模範演技となるように飛ばなくてはなりません。

■ その他 ■

<ハング メンテナンスシール>

ハングのメンテナンスシールが作られる事が決まりました。これはメンテナンスした人がそのハングのクロスバーに貼り付けます。(クロスバーが一番交換少ないので) そのシールを見れば、オーバーホールや部品交換履歴が現場で確認できるようになります。